

## 「対日理解促進交流プログラム JENESYS2019」による 台湾招へい事業第1陣の来日

「対日理解促進交流プログラム JENESYS2019」の一環として、8月4日から10日まで、台湾人大学生・大学院生35名が訪日します。

本招へいでは、「地方創生」をテーマとし、都内において政府の地方創生への取り組みの講義を受け、地方では愛媛県・徳島県を訪れ、地域創生を学ぶ学生との交流や地方創生に取り組む地域の視察を行う予定です。日本に対する理解を深め、少子高齢化という共通の課題解決への対応を促進させることを目的としています。

今回の交流事業を通じて、日本と台湾の関係を強化し、一行が日本の魅力等を積極的に発信することが期待されます。

[参考]対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」

日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目指している。

日程	内容
8/4(日)	入国 【視察】都内 来日オリエンテーション
8/5(月)	【表敬・講義】公益財団法人日本台湾交流協会 【講義】内閣府まち・ひと・しごと創生本部 愛媛県へ移動
8/6(火)	【講義】愛媛県庁 【学生交流】愛媛大学(学生のガイドによる大学食堂交流会／グループワーク:国連 SDGsの達成を目指した「愛媛発! グローカル未来創生モデル」を考える) ファームステイ対面式
8/7(水)	【体験】ファームステイ 【視察】しまなみ海道(道の駅ようみいきいき館・サンライズ糸山等)
8/8(木)	【講義】松山市役所 徳島県へ移動
8/9(金)	【視察・講義】徳島県サテライトオフィス(神山町) 東京都内へ移動 報告会
8/10(土)	帰国